

手寄地区市街地再開発事業について（見直し中）

1 手寄地区市街地再開発事業の経緯

- 平成7年度 福井市が「福井駅周辺市街地総合再生計画」を策定
 福井駅の東側地区の拠点として、手寄地区に公共公益施設と商業施設の都市型複合施設の整備を計画
- 平成13年3月 地権者による再開発準備組合の設立
- 平成13年度 福井市が「手寄地区市街地再開発事業推進計画」を策定
- 平成14年8月 手寄地区市街地再開発事業に係る都市計画決定（福井市）
- 平成15年8月 手寄地区市街地再開発組合設立

2 手寄地区市街地再開発事業の概要（手寄地区市街地再開発組合の事業計画書による）

・事業主体 手寄地区市街地再開発組合

| | | |
|-------|------|--|
| ・施設内容 | 7～9階 | 県の公共公益施設（ホールの調整室部分等については10～11階） |
| | 4～6階 | 福井市の公共公益施設 （仮称）男女共同参画・少子化対策センター、 （仮称）中央公民館、（仮称）図書館 |
| | 1～3階 | 商業・業務施設 |

・施設規模

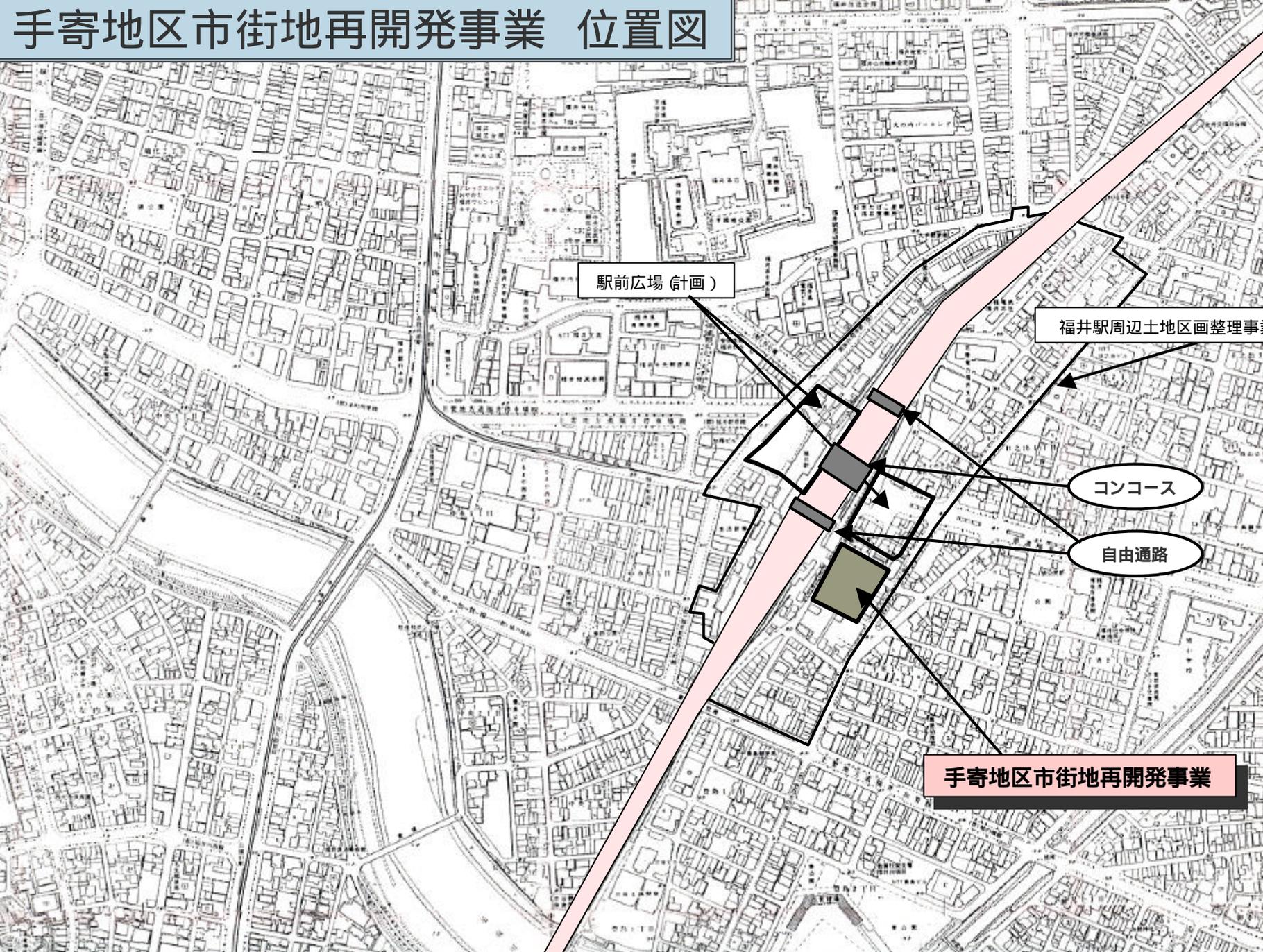
| | |
|------|----------------------------------|
| 敷地面積 | 約4,500㎡ |
| 建築面積 | 約3,490㎡ |
| 延床面積 | 約36,400㎡ |
| 構造 | 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 地下2階、地上9階（ホールの調整室部分等については10～11階） |
| 高さ | 約60m |
| 駐車場 | 約200台 |
| 駐輪場 | 約130台 |
| 総事業費 | 約116億円（土地等の従前資産額を除く） |

（注）今後、実施設計や権利変換計画等により変更されることがある。

3 県の施設内容および面積

| 施設名 | 主な施設内容 | 面積（㎡） |
|-----------------------------------|--------------------------------------|---------|
| 消費生活センター | 消費者活動ルーム、商品テスト室等 | 約800 |
| 県民活動センター | 交流・情報コーナー等 | 約300 |
| 人権センター | 個別相談室、研修室等 | 約300 |
| 放送大学福井学習センター | 講義室、図書室・視聴学習室等 | 約500 |
| 多目的ホール、会議室、ギャラリー | 多目的ホール（約600人収容）、 会議室（10室程度）、ギャラリー | 約3,200 |
| サテライトキャンパス（仮称） 県内大学等の連携拠点として設置 | 講義室、演習室等 | 約400 |
| 県専用の共用スペース | 専用廊下等 | 約1,100 |
| 専有面積 小計 | | 約6,600 |
| 共用面積 | 駐車場、廊下、階段等 | 約7,500 |
| 合計 | | 約14,100 |

手寄地区市街地再開発事業 位置図



駅前広場 (計画)

福井駅周辺土地区画整理事業

コンコース

自由通路

手寄地区市街地再開発事業

手寄地区市街地再開発事業の見直しについて

<これまでの計画>

見直し中

